

1995年度研修部会報告（東松山研修室）

柴 田 敏 夫

東松山研修室では、新1年生を迎え活気を呈するかに見えたが、1年生による研修室の利用に積極性がみられず、2年生による独占のような結果になってしまった。2年生の使用も決して活発ではなく、日を追うにつれて減少し、一ケタの人数になってしまうという寂しい状況である。原因は多々考えられるが、精神の集中を欠くような外的要因の多いことがあげられる。昨年度の所報にも記したが、研修室の環境整備を重点事業の1つにあげておく必要がある。

「講義・演習」等については、講師の諸先生方には、開講時間に制約があるにもかかわらず、遠く東松山キャンパスまで御足労を願い、何とか開講できた。多大の御尽力に対しスタッフとして感謝申し上げるしだいである。その御尽力の結果、法職・公務員両コースとも蝸牛の歩みではあるが、少しずつ光明が見えはじめた。司法試験に関していえば、短答式現役合格も夢でない研修生もあらわれた。これが現実のものとなれば、今までの努力の仕甲斐もあったといえる。なおいっその努力を望みたい。また1年生の中には、行政書士試験に合格した者もあり、成果の一端を示すものである。

「科目」の開講曜日・時間は、大学の正規の時間の後になるため、正規の時間割が決定されないと定まらない運命にある。したがって時間調整に、毎年、頭を痛める。早急にこの事態を改善してほしいと願うが、その兆しはいっこうに見られない。この曜日・時間に関しては、さらに講師の先生方の時間的制約もあり、学生の要望どおりには進まない点を了承してほしい。

「研修室の利用時間」に関しては、朝9時から夜8時までの利用を申し入れてあるが、この点につき、4月以降所長から文書で正式に東松山教務事務室に申請したいと考えている。